

## 令和2年度神戸ゆかりの美術館事業点検評価の外部評価

### 【総括】

令和3年度、小磯記念美術館協議会で実施した令和2年度の神戸ゆかりの美術館事業点検評価において、4つの事業項目のうち、A評価は1つ（資料）、B評価は3つ（普及、連携、運営）となった。

自己点検評価でも、事業項目4つのうち「資料」のみA、残りの3つ「普及」、「連携」、「運営」はBとなっており、外部評価と同様の評価であった。

※評価はS・A・B・C・Dの5評価

### 【外部評価委員からの総評】

神戸ゆかりの美術館についても、新型コロナの緊急事態宣言により、年度当初から休館となる厳しい環境下ではあった。その中で、展覧会会期を縮小、変更する柔軟な対応により、企画どおりに4つの展覧会を開催し、また独自企画の特別展も緊急事態宣言下で開催できたことは評価できる。

神戸ゆかりの美術館は、物故者の作品を受けるための美術館ではなく、現在活動している、またこれからの活躍が期待できる若手芸術家の発表の場にするこも、引き続き目指してほしい。

### 神戸ゆかりの美術館外部評価 【令和2年度】

美術館の事業方針	事業項目	点検評価項目		外部評価
		(小項目)	(判定概要)	事業項目評価
神戸ゆかりの美術館 条例第3条	資料	収集・保管	受け入れ	A
			資料補修	
		展示・調査研究	企画展（生誕120年 別荘博覧展～ゆかりの人々とともに～）	
			企画展（風そよぐ一川端謹次、小松益喜と神戸ゆかりの画家たち～）	
			特別展（無言館 遺された絵画からのメッセージ）	
			特別展（花森安治『暮らしの手帖』の絵と神戸展）	
	研究活動			
	普及	広報・広聴	広報活動	B
			アンケート	
		事業	講演会	
連携	連携	学校	B	
		他館		
美術館の事業方針	事業項目	(小項目)	(判定概要)	外部評価
館の運営に関する 管理事項	運営	入館者数・収支	入館者数	B
			収支状況	
		サービス、施設管理	施設	
			案内	
			危機	